

令和5年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」 調査項目等に関する検討会について

令和4年10月26日
科学技術・学術政策局長決定

1 趣 旨

文部科学省では、大学等における研究者の活動の実態を把握し、研究や教育等にかける時間の利用実態を調査するとともに、大学等における研究者数を国際的な基準であるフルタイム基準に換算するために必要な統計的データをを得ることを目的に「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」（以下、FTE 調査という。）を約5年に1度実施してきた。企業等の研究者については総務省が「科学技術研究調査」により把握しており、大学等の研究者の活動実態については文部科学省のFTE調査によって把握している。

今回は令和5年度に実施する予定であるが、社会情勢や研究環境は過去5年で変化しており、また、関係機関の関心や各種施策を実施する上で求められるデータも変わりつつあるところ、回答者の負担軽減や過去のデータとの比較可能性等の観点も勘案しつつ、最も適切な調査項目や調査方法を慎重に検討する必要がある。

こうした主な背景を踏まえ、統計等に関する専門的知見を有する識者及び調査対象となる大学の関係者等により、令和5年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」調査項目等に関する検討会（以下「検討会」という。）を開催し、令和5年度FTE調査における調査項目や調査実施方法等について、検討を行うこととする。

2 検討事項

- (1) 調査項目の検討
- (2) 調査実施方法の検討
- (3) その他

3 統計等に関する知見を有する識者の構成等

- (1) 検討会において助言等を得る有識者の構成は別紙のとおりとする。
- (2) 必要に応じて有識者の追加等を行うことができる。
- (3) 必要に応じて別紙以外の者からの協力を求めることができる。

4 実施期間

令和4年10月26日から令和4年12月31日までとする。

5 その他

検討会の事務は、科学技術・学術政策局研究開発戦略課において行う。

令和5年度「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」
調査項目等に関する検討会委員名簿

氏名	職名
川上浩司	京都大学大学院医学研究科教授
鳶田敏行	茨城大学全学教育機構総合教育企画部門教授
富澤宏之	文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ総括主任研究官
両角亜希子	東京大学大学院教育学研究科教授
山本勲	慶應義塾大学商学部教授

(以上5名、五十音順、敬称略)